



『明けない夜はない』 本年も宜しくお願いします

去年は、台風15号からの復旧復興に加え、新型コロナウイルス感染症で未曾有の一年となりました。年末には安房地域にも感染が広がり、まだまだ予断を許さない状況ではありますが、新しい時代の流れを見極めて明るい未来を創っていけるよう、引き続き微力を尽くして参ります。

令和3年の干支は「辛丑」(かのと・うし)。辛は冷たく厳しいさま、丑は命の息吹を表しているとも言われます。皆さんと力を合わせて辛いことを乗り越えて、大きな希望が芽生える年にしていきたいと思っています。

防災体制：台風15号の総括は？

甚大な被害を被った台風15号の総括をどのように行っているのか質問しました。

- 市として、各種マニュアル等の改訂を順次進めているが、まだ反省点の取りまとめは終わっていない
災害からの教訓をどう活かしているのか、市民にも分かりやすく随時、情報提供していくよう要望した
- 自主防災組織は156町内会中146で組織化。
残る地区について、近隣との共同でも良いので、全域で組織できるようにすべき
- 地域防災リーダー（防災士）は、146自主防災組織中、66地区にはいない
リーダー同士が連携を強化し、他地区の避難訓練に参加して、全体のレベルアップを図ると良いのではないかと
- 福祉避難所として、市内に多数あるお寺も検討して欲しい（畳で寝られる、炊き出し等もできる）
- 6,000人以上登録されている「避難行動要支援者名簿」を定期的に更新して、名簿掲載の同意を得ている人たちの情報を使えるようにしておくこと
- 台風で増加した空家の有効活用について、国が今、相当力を入れているワーケーション関連の交付金等も積極的に勉強して欲しい
(来年度予算に反映できるように)



地域コミュニティ力の強化

非常時になるほど、地域力の差が如実にあらわれることを台風15号で痛感しました。日頃の地域コミュニティ力を高めることで、防災にも役立ちます。

- ◆町内会加入率は、10年前の90.4%から令和2年86.9%と低下傾向。これを高める方策として、転入時に町内会活動に加え各地区毎の具体的な情報を配ることを提案した（“波左間区へようこそ！”というチラシを作って配っている事例を紹介）
- ◆各地区には、民生委員、青少年相談員、保健推進員など様々な委員がいるが、少子高齢化の中でその選出が難しい地区もあり、全体を見渡した定数見直しを要望した

～お知らせ～

- 今回も、市民の皆さんとの意見交換会を計画していましたが、昨年末から安房地域でコロナ感染者が急増したことから、急遽、中止の判断としました。
- これまでの様子や、毎週続けている日曜街頭演説の様子は、Youtubeでご覧頂けます。
チャンネル登録もお願いします♪



食のまちづくり拠点施設整備の進め方にみる市政の課題

12月補正予算案の中に「食のまちづくり拠点施設整備」の債務負担行為の設定がありましたが、その進め方に市政運営の課題が凝縮していると感じました。以下、総務委員会の質疑で判明したポイントと、問題点を指摘します。

1. 「食のまちづくり」の目的

地域の豊富な農水産資源を観光や商工業で活かして、農水産業の6次産業化、農商工連携、地産地消、交流人口の拡大などを推進すること、そして地域の産業全体を活性化すること、雇用の場や定住人口の増加まで目指す、されています。

2. 10億円を超える投資になる

初期投資は6億3800万円（前澤基金）ですが、維持費（指定管理料）は20年間で4億円（一般財源、上限）とされています。これまでの土地取得費用等もあわせると、10億円を超える規模の投資です。

3. 集客施設なのに場所の検討はしない

そもそも、稲の土地を公設卸売市場用地として取得し（構想は中止に）、その跡地利用の検討から広がった構想なので、他の候補地の検討はしていない、とのことでした。

「道の駅」という集客施設を目指すのであれば、立地はとても重要です。

4. 費用対効果の検証ができない

執行部で事業のシミュレーションをして費用対効果はある、との答弁ですが、具体的な数値は示されませんでした。この状態で議決することに疑問を感じています。

また、計画値なしに投資が実行されれば、後から検証することができなくなりますので、事前に計画・目標を皆で共有しておくことが非常に大切です。

5. 課題の優先順位をつけることが重要

一般財源をつぎ込む4億円（年2千万円）があれば、他にできることは沢山あります。最近、市民のお困りごととしてお聞きすることが多いのは、有害鳥獣対策、空家問題、海岸や道路整備、そして昨年はコロナ対策も大きな問題でした。山積する課題の優先順位を皆で共有した上で、このような大型投資の是非を決めていく、という検討の進め方が、**長期的に持続可能な財政運営**のために必要不可欠と思っています。

6. 今後の予定

これから民間事業者の公募が始まり、議会としては、予算案や契約締結時に再度、議決をする機会があります。公募の結果、市民の貴重な税金を投入するに値する提案がないと判断される場合には、また一からプランを練り直す、という決断もあり得ると考えています。

*12月22日付房日新聞に、詳細を寄稿しました。
ご希望の方には差し上げますのでご連絡下さい。

【編集後記】

昨年末から、館山・安房地域でのコロナ感染拡大で、様々な噂・デマも飛び交っています。目に見えないウイルスなので、どんなに気をつけていても絶対に感染しないことは難しい。それよりも「感染させない」という気持ちで皆が行動すれば、より早い終息に繋がるのではないのでしょうか。

差別や偏見、攻撃的な行動はウイルスの思うつぼ。情報開示を妨げる要因になります。デマを流す側にならないよう冷静に行動し、心を寄せ合って団結していければと思っています。

※日本赤十字社のHPが参考になります。
『新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう』

LINE 友だち追加



“あつみの部屋”公式LINE始めました！
←色々な情報を発信しますので、QRコードで
“お友達追加”お願いします♪

発行：むろあつみ後援会

〒294-0307 館山市波左間1049-2

TEL 0470-29-5333 FAX 29-5337

Email muroatsumi@gmail.com